

## 令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者	寺澤勝志
	全体計画 <input type="checkbox"/> 経費区分 <input type="checkbox"/> 内線	3628
事務事業名	4325 体育団体等助成事業	
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課	
施 策	04022000 スポーツ活動の充実	
予算 科目	会計	01 一般会計
	科目	100703 教育費・保健体育費・体育振興費
	事業	030000 体育団体等助成事業
事業目的		事業概要・効果
体育団体の活動を支援し、スポーツの振興に努める		須坂市スポーツ協会を通して協会に加盟する各種スポーツの競技団体の育成、選手の競技力の向上、大会の開催を支援し、スポーツの振興を図る。

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
須坂市体育協会を通して協会に加盟する各種スポーツ競技団体の育成、選手の競技力の向上、大会の開催を支援し、社会体育の振興を図った。	須坂市体育協会を通して協会に加盟する各種スポーツ競技団体の育成、選手の競技力の向上、大会の開催を支援し、社会体育の振興を図る。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
須坂市体育協会を通して協会に加盟する各種スポーツ競技団体の育成、選手の競技力の向上、大会の開催を支援し、社会体育の振興を図る。	須坂市体育協会を通して協会に加盟する各種スポーツ競技団体の育成、選手の競技力の向上、大会の開催を支援し、社会体育の振興を図る。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
須坂市スポーツ協会を通して協会に加盟する各種スポーツ競技団体の育成、選手の競技力の向上、大会の開催を支援し、社会体育の振興を図る。	須坂市スポーツ協会を通して協会に加盟する各種スポーツ競技団体の育成、選手の競技力の向上、大会の開催を支援し、社会体育の振興を図る。

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		12,644	13,147
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		12,644	13,147
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	726.5	726.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	726.5	726.5
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		13,370.5	13,873.5

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	6,039	須坂市スポーツ協会に加盟する競技団体との調整、競技力向上事業等を委託（スポーツ振興委託料）
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	6,605	須坂市スポーツ協会に対する大会開催負担金350、補助金6,255
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	6,503	須坂市スポーツ協会に加盟する競技団体との調整、競技力向上事業等を委託（スポーツ振興委託料）
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	6,644	須坂市スポーツ協会に対する大会開催負担金350、補助金6,294
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	体育団体の維持、育成には必要な事業である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	スポーツの振興には有効である	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	団体に登録していない方に対してスポーツの普及をしてほしい	

振り返り（決算年度の取組み課題）
団体の存続のための活動や育成には必要であるが、各団体の会員数の減少により、新規のスポーツをやる人（新規会員）の確保をしてスポーツの振興につなげてほしい

**ACTION**

**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
スポーツの振興には、各団体への支援は必要	

**2次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
2次評価コメント	
スポーツ活動の充実のために、スポーツ団体に求められる活動も変化してきている。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	